

つきたい力

- ・主体的に読書に取り組む力
- ・図書を活用するかインターネットを活用するかを判断しながら、主体的に課題解決に取り組む態度

取組みの概要・ポイント

- ・意欲的に情報を収集し、知識を身に付けられる環境の整備を行った。
- ・子どもが図書やインターネットを活用して情報を集める場面を設定し、資料やデータを活用しながら、根拠や観点を明確にして書いたり説明したりする授業づくりを行った。

具体的な取組みの内容「学校図書館を活用した授業づくり」「本に親しむ場づくり」

学校図書館を活用した授業づくり

- 年度当初の本校の課題
→学校図書館を利用している生徒が少ない
→情報を収集する際に、インターネットからの情報に偏っている。
- 今年度の授業づくりについて
 - ①全教科を通して生徒が図書やインターネットを活用して情報を収集する場面を設定する。
 - ②学校図書館を活用して、考えをつなげ・深める学習をすすめ、生徒が根拠や観点を明確にして、書いたり説明したりする授業改善に取り組む。
- 実践事例 音楽科（2年生）【歌舞伎】

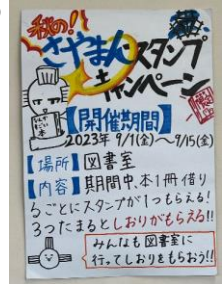
学校図書館を活用して、考えをつなげたり、深めたりする授業を実現するために、学識経験者を招聘し、校内研修に取り組んだ。



市立図書館や市内小中学校の学校図書館司書と連携し、できるだけ多くの図書資料を準備し、その中から生徒たちが主体的に図書を選択できるようにした。

本に親しむ場づくり

- ①新聞の配架
学校図書館へ一般紙3紙を配架し自由に閲覧できるようにした。また、各机の上に「NIE」のワークシートを配置し、自由にチャレンジできるようにした。
- ②学校図書館の開放
昼休みの開放だけでなく、夏季休業中にも学校図書館を開放し、図書の貸出しを行った。
- ③テーマ別展示
学校行事や季節に応じた展示を行い、読書意欲の向上を図った。
- ④委員会活動の充実
委員会が「さやまんスタンプキャンペーン」と題し、図書の貸出数に応じて委員会の生徒が手作りしたしおりをプレゼントする活動を実施した。また、学校図書館内のPOPを手作りしたり、おすすめ本のスライドを作成したりするなど、読書活動の推進を行った。



これまでの授業

教員が歌舞伎について説明したり、教科書の説明を読んだりして、大まかなイメージをつかんだ後、鑑賞する。

学校図書館を活用した授業

図書資料を活用して、事前にグループで調べ学習を行ってから鑑賞する。

(生徒の様子)

・図書資料とインターネットを行ったり来たりしながら、歌舞伎に対するイメージを膨らませ、音楽や舞台の様子について、事前に調べたことをもとに、意見や考えを伝え合っていた。

11月30日に実施した実践報告会の資料は、こちらから。



取組みを通しての子どもの変容

・以前はインターネットを活用して情報収集する生徒が大半で、図書を使う生徒は少数だったが、取組みを進めていく中でインターネットと図書の両方を活用し、比較したうえで図書資料を選択して調べる生徒が3割を超えるようになってきた。生徒に図書を活用する理由を問うと、「ネットは、すばやく情報を得られるが信頼できるかどうかわからない。」「小さい文字で書かれている図や表の説明がいいヒントになる。」などの声が聞かれ、図書を活用する良さを感じさせることができてきたのではないかと考える。

学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることが楽しい

4月

45%

11月

81.3%